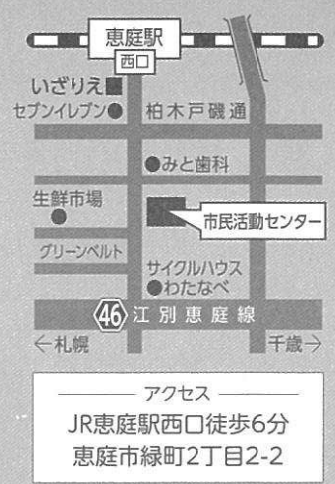
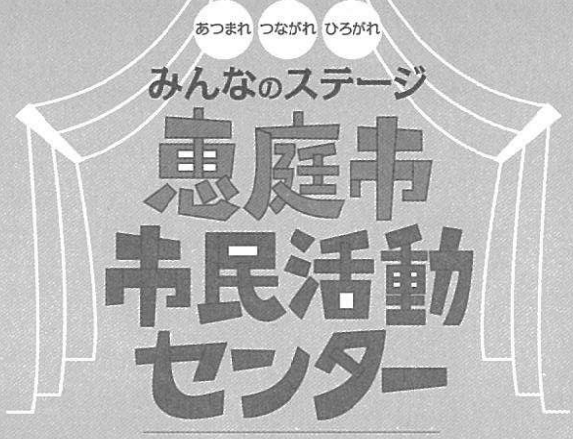


つなぐ

恵庭市町内会連合会報
2017.3
vol.08

恵庭市市民活動センターは
市民活動をしている
個人・団体の活動拠点として
様々な支援を行い
活動を応援します。



開設時間
平日(月～金曜日)9:00～17:00
*土・日曜日、祝日はお休みです。

①市民活動の 情報をお知らせ!

団体に関する情報を提供します。活用できる助成金の情報、市内のイベントなどの情報を提供します。「市民活動センター情報」は「フリーペーパーちゃん」とに掲載しています。
※毎月7日締切・最終金曜日発行

②活動について相談できます

市民活動についての相談やアドバイスの他、会議資料の作成や簡単なパソコンの操作についてお手伝いします。



市民活動センターは、こんな場所!

③他の団体との コーディネート をします

自主事業の企画や実施についてお手伝いします。
※敬老会やお祭りステージへの出演者探しなど

④人材育成や研修を 企画します

これまで、助成金申請のコツ・活動内容を知らせるコツ講座(H27年度)、チラシ作成講座(H28年度共催事業)を開催しました。

⑤機器を貸し出します

会議の資料やイベントの横断幕などの印刷、プロジェクターや集会用テントなどを低額で貸し出します。

★市民活動センターは運営協議会会員により運営されます。★運営協議会の会員は随時募集しています。
★入会申込書は市民活動推進課窓口に設置のほか、市ホームページからもダウンロードできます。
●会員の種類：正会員と賛助会員があります。
【正会員】市民活動を行っている個人及び団体 【賛助会員】市民活動を応援したい個人及び団体
●会費：団体3000円・個人1000円 ●会員の特典：貸出機器等の利用料が低額に、さらに会議室の利用が無料となります。

編集後記

本格的な高齢化社会を迎えようとしている昨今、ひとり暮らしの高齢者が地域に多数お住まいになっています。大規模災害時の避難行動要支援者の他、高齢弱者にも平常時から声かけ支援や向こう三軒両隣りで行動を広げ、絆を深めることが町内会・自治体に一層求められています。(つ)

募集! 紙面で紹介したい「ユニークな活動をしている人」「がんばる人」の情報を教えてください。

発行 恵庭市町内会連合会 広報部
事務局 市民活動推進課
恵庭市緑町2丁目2-2
恵庭市市民活動センター
電話/0123-34-7000



島松寿町町内会では、安心して暮らし続ける地域づくり、高齢者の生きがい、健康づくり、とじこもり防止のため、また気の合った仲間同士等でお茶を飲んだりおしゃべりをする「つながりの場」「気軽に集える場」として、ふれあいサロン「フレンド」を平成27年4月に開設しました。

「フレンド」では、「かみかみ百歳体操」に加えて「しゃきしゃき体操」と「きよしのズンドコ体操」等皆がイスに座ったまま気楽に出来る軽度の体操を実施しています。また、参加者全員で、町内在住者とサロン参加者によるハーモニカの伴奏で、唱歌・童謡・ナツメロ・最近の歌謡曲を合唱します。

コーヒー、お茶は飲み放題で駄菓子を提供したり、季節ごとのお彼岸(ぼた餅)ひな祭り(さくら餅)初冬(おでん)夏(流しソーメン)クリスマス(ケーキ)や毎月の誕生日お祝い会を

『ふれあいサロン フレンド』開設事業

実施しています。
1回平均で参加される約18名の皆さんを6名のサポーターがもてなしています。2年間一度も休まずに実施して来ましたが、サポーターの皆さんの協力が一番だと思います。
毎回、サポーターも一緒になり、全員が和気あいあいとなるよう声をかけており、最後には「来週もまたね」との一声かけにより、普段外出の機会の少ない方の孤立感の解消が図られています。



島松寿町
町内会

報告

平成29年2月8日 定期総会開催 恵庭市町内会連合会



総会では、恵庭市長より河尻さん（前緑町町内会長）に市長感謝状の贈呈、また、3名の町内会長に永年勤続表彰（勤続10年以上 河尻さん、勤続5年以上佐々木さん（前北島町内会長）、勤続3年以上寺澤さん（前下島松北町内会長））を行い、会長挨拶の後、原田市長、野沢市議会副議長のご来賓挨拶を受け、議案の審議に入り、報告第1号から第5号及び議案第1号から4号についての審議を行いました。

その中で、恵庭市が配布予定の「防災ハンドブック」のクリアファイルを町内会還元事業として作成することを決定するなど、満場一致で承認されました。

最後に、新旧役員挨拶を受け総会は滞りなく閉会しました。

平成29年度 恵庭市町内会連合会役員

会長	野原聡大町町内会長
副会長	下原千城駒場町南町内会長
	鶴田力島松仲町町内会長
	武藤光一恵み野西町内会長
	竹生英雄下島松南町内会長
事務局長	北林優福住町1丁目町内会長
事務局長	波邊三好恵み野北町内会長
会計長	関田豊柏陽町東町内会長
	三浦功有明町町内会長
	平野隆晴漁太・林田町内会長
	中村誠一黄金南町内会長
	柴山富治彦川沿町内会長
理事	竹生輝雄下島松北町内会長
	鏡貫島松本町町内会長
	中村忠司黄金北町内会長
	村本久仁雄春日町内会長
監査役	

恵庭市町内会連合会 町内活動研究会



平成28年12月13日（火）に恵庭市町内会連合会町内活動研究会が町内会長・自治会長・町内会役員49名が参加して開催されました。

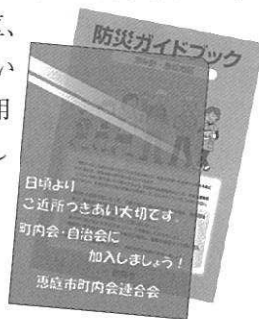
この研究会は毎年開催されていますが、研究会の始めに町内会連合会に多額の寄付（30万円）を頂いた本多技建工業㈱に野原会長から感

謝状を贈呈した後、社会福祉協議会の長政主査と遠藤主事を講師に迎え、平成28年度から始まったボランティアポイント制度（あったまーポイント）と恵庭市成年後見支援センター制度について、説明を受けました。

出席した町内会長・自治会長からは、ボランティア制度の受け入れ施設の負担等、制度が始まってから気が付いた課題について質問がありました。また、成年後見支援センター制度では決定までに時間がかかることや相談体制についての質疑が出される等、活発に意見交換が行われ終了しました。

「防災ガイドブック」用 クリアファイルを寄贈 しました。

恵庭市町内会連合会は、3月に市が全戸配布する「防災ガイドブック」をいつでも見やすいところに保管出来る様、クリアファイル35,000枚を㈱本多技建工業、日赤恵庭地区、暴追協から頂いた寄付を活用し、市に寄贈しました。



平成28年 全道運動事業の参加報告

- ①ひとりの不幸も見逃さない全道運動
北海道町内会連合会の助成で5町内会が実施。
 - 島松町町内会 「ふれあいサロン「フレンド」」
 - 恵み野西町内会 「高齢者ふれあい昼食会」
 - 柏陽町西町町内会 「柏陽町西町町内会自主防災計画」
 - 島松仲町町内会 「仲町ふれあい交流」
 - 黄金中央町内会 「高齢者のふれあい・支えあい活動」
- ②防災活動研修会支援助成事業
北海道町内会連合会の助成で3町内会が実施。
 - 柏木町内会 「柏木町防災教室・男の手料理昼食会」
 - 島松本町町内会 「自主防災秋の視察研修」
 - 幸町町内会 「幸町防災訓練」

市町連活動記録 (2016.8.1～12.31)

- 8.26 名寄市町内会連合会 視察研修受入
- 9.1 広報誌「つなぐ」vol.7発行
- 9.5 恵庭市理事者と市町連役員との懇談会（参加：役員11名、市理事者14名）
- 10.21 滝川市町内会連合会視察受入
- 10.27 仙台市町内会会長 島田福男氏との懇談会
- 12.13 町内会活動研究会 講演「ボランティアポイント制度」「恵庭市成年後見支援センター」ほか（研究会参加：49名、懇談会参加：33名）

■役員会等の開催状況
四役会議（5回）、役員会（3回）
事業部会（1回）



住宅用火災警報器を設置していますか？



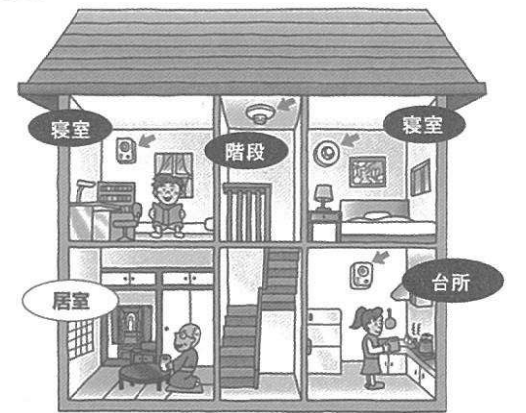
●住宅用火災警報器って？

住宅用火災警報器は全ての住宅で「設置義務化」となっています。平成28年中の住宅火災による死者は900人を超え、その約7割は65歳以上の高齢者が占めています！原因の多くは逃げ遅れによるものです。住宅用火災警報器は火災による煙や熱をいち早く感知して音声や警報音で知らせてくれます。まだ設置していないご家庭は自分や家族、そしてお家や財産を守るためにも早急に設置しましょう！！



あなたのお家の住宅用火災警報器は大丈夫ですか？設置していてもいざという時に機能しなければ意味はありません。定期的に点検し、ホコリや汚れがあれば掃除しましょう！！

●は設置義務があるところです。



●住宅用火災警報器 維持管理について

住宅用火災警報器の電池寿命は約10年と言われています。10年を目安に住宅用火災警報器の交換をおすすめします！

恵庭市消防本部予防課 0123-33-0990

「花のまち」にポイ捨て！?

みんなでまちをきれいにしようとしているのに
ゴミをポイ捨てする人が後を断ちません。

「花のまち」を観に来た人が「ポイ捨てゴミ」を見たらどう思うでしょう。恵庭で育つ子どもたちが「ポイ捨てゴミ」や、ポイ捨てをする人たちを見てどう思い、どういう大人に育つでしょう。いまいちど考えてみてはいかがでしょうか。

生活環境部 廃棄物管理課

YES? NO!

おもしろ恵庭学

第8回

国技館の土を踏んだ
盤尻出身の力士

文責：恵庭昭和史研究会 林 嘉男

19年ぶりの日本人力士、稀勢の里の横綱昇進に日本中が沸いた。日本人のほとんどが今も昔も相撲が大好きだ。私が子供だった頃、草相撲は何処でも見られた光景だ。大正時代、恵庭の盤尻から国技館の土俵を踏んだ力士がいた。名誉

市民の驚田清の父仁作である。四股名は「実勇」。私事になるが、私の祖父は明治40年に盤尻に入り、真宗大谷派の説教所で子供たちに読み書きを教える僧侶（林空真）だった。驚田親子は教え子である。生前、驚田清は私を捕まえると「親父は草相撲の勧進元でいつも素人相撲の力士を育てていたから、うちにいるのは見たことがなかったな。だから空真先生がよく青年学級を含めて、俺たちの面倒を見てくれたさ」

大正13年9月、驚田仁作の功績

をたたえて記念碑が建立され、現在も玉川組プラントの街道沿いにある。除幕式の写真には驚田家の人々や盤尻の名士が写っており、私の祖父や豊栄神社の熊谷宮司が写っている貴重な一枚である。（敬称略）

